

# 「9.12豪雨災害から50年のパネル展」を開催

令和8年5月23日（土）、昭和51年長良川が決壊した9.12豪雨災害から50年の節目に、OKB岐阜中央プラザ わくわくベースG（岐阜市柳ヶ瀬グラッスル35 1階）で、「もしもに備える!未来への第一歩」と題したイベントと9.12豪雨災害のパネル展を開催しました。

このイベント・パネル展は、当協会とOKB大垣共立銀行の共催、木曾川上流河川事務所と岐阜市の協力により実施しました。

会場では木曾川上流河川事務所による「9.12豪雨災害動画」の上映や岐阜市による「浸水ARアプリ みずくる」の体験、当協会による「浸水VR体験」、避難用品・避難行動を学べる「水防災AIカードクイズ」などを行いました。

また、5月29日から防災気象情報が大きく変わることから、警戒レベルの色にあわせたストラップ付きのホイッスルをデコレーションしながら、新たな気象の情報なども知っていただきました。

9.12豪雨災害の降水量を示した背くらべのパネルも好評で、自分の身長と比べている子どもたちの姿が見られました。

当日は、CBCテレビ・中日新聞・岐阜新聞・ケーブルテレビCCNの取材がありました。

なお、パネル展は6月19日（金）まで引き続きこの会場で開催しています。

